

# 府縣經濟部の惱み

丹波浪人

國民經濟を基調として政治せなければ眞の政治でないと  
は、昔からの憲法的言葉であつた、ハイカラがあつて之を  
歐米の史實に徴するの必要もない、立憲政治でなかつた徳  
川時代でも百姓の生活を視察して、之に基いて藩政を隆昌  
にしやうとした殿様もあつた筈、夫れも考へやうに依つて  
は奇劍誅求の種にしやうとした勢であると言へば夫れまで  
ではあるが、それは兎も角として歐米の制度に陶醉して、

農村を救へ、窮乏地方を救へ、雪害地方を救へ、と言つた  
調子で其の要求の根底に經濟生活が横はつて居るからだ。  
形式的にでも政黨政治が行はれ、政黨野人が横行跋扈す  
る時代があつた、夫れに附け込んで立身榮達を計らうとする  
不逞の官吏も續出した、政友會の知事公だ、イヤ彼は民  
政黨の知事ぢやと、政治思想も政治に關し何ものも持合せ  
のない小百姓の頭にまで黨派的な空氣を注入するやうに爲  
つた。誰かの内閣のときに、そゝ官吏が政黨的に爲つて居  
ては行政の實が舉らない。政務不振の禍根は此處にあると

ではない、兎に角今まで政治の局に當つた連中が、形式的  
な理論に心酔して、言はゞ議論の遊戯をして居たことは事  
實である。處が今は左様な遊戯を許さなく爲つた、夫れは  
は奇劍誅求の種にしやうとした勢であると言へば夫れまで  
ではあるが、それは兎も角として歐米の制度に陶醉して、  
政治の實際的要求から遠ざかつてゐた連中が、今更眼覺め  
たやうに經濟々々と言ふやうに爲つたのは、政治の局に方  
つてゐた者が官學即ち帝大出の連中ばかりで、經濟を論じ  
た福澤先生の私學から遠ざかつてゐたことを物語るやうに爲  
も見える、併し夫れと言つて筆者は福澤先生を謳歌するも

思つたのか、官吏身分保障に關する制度を設けた、即ち單獨に言はゞ一方的に官吏を休職せしむるには××會の議を経ることに爲つた。夫れも制度の設定前に官吏全般の首實驗をやつたのなら、まだ始末も良かつたのに、夫れをやらずに制度だけを設けた。夫れで頭の良くない連中や老巧者に罷めて呉れと言つても容易に辭表を出さない、……分限令に依つて處分して呉れと言はれたら政府の面目問題ぢやと言ふので容易に辭表の提出を強要しない。そこで官界は安全往生の世界と爲つた、併し人口を制限しない勢で後から後からと生れては安全世界に押しかけて来る、そこで不平も起れば不満も湧いて来る、遂には身分保障令撤廢の聲が八ヶ間敷なつた、新陳代謝の言葉が正當視せられる現代では、無理からぬ要求と聞える、何とか始末しなければならぬとは、何人でも痛感した社會的な問題であつた。

○  
經濟部が設けられたのは可いが是迄内務部に屬してゐた各課が如何様に分解されたか、府縣では總務部に人事課、統計課、庶務課、地方課、會計課を置き、經濟部には土木課、農務課、山林課、耕地課、商工水產課、經濟更生課を置いて是れから地方經濟の發展を策し様とする構えである。他の課のこととは暫く措くとしても、土木部の設置されてゐない府縣では、路政を執行する土木課は經濟部の統轄するところと爲つた、詰り知事代理の權限を持つてゐた内務部長、今の總務部長の手から離れて新來の經濟部長の配下

地方官の整理をやる、否な後藤内相には夫れがやれないと、デヤナリストは勝手に囁き立てゝ居たが、コ一囁き立

に屬すること、爲つた。併し部長制は新設されたが、夫れに伴ふ豫算は既定豫算で賄と言ふのであるから、そこに惱の種が藏される、新部長が着任したから官舎を明け渡せ、土木課長の部屋が經濟部長の部屋と爲る、自動車は明日から新部長の所屬になると言つた調子で、土木課長は役人の格が一段下がつたやうな向も渺くないであらう。

夫等のことは兎も角としても、行政の實際に如何に影響するであらうかと言ふことが吾々の關心事である、從來上に居た内務部長が經濟部長に變つただけであるから形式的に言へば何でもない、併し從來上にゐた内務部長は府縣豫算の編制に就て權限を持つてゐたので、他課の要求する豫算を抑制して、も土木課の豫算を是認したので、此度は經濟部長と對立するので昔のやうには行かない、濟經部長が總務部長に遠慮すれば土木課の仕事は二重に監督せらるゝ譯で、經濟部獨立の效果は薄らいでくる、土木行政は技術に關係することが多いから技術官を以て課長とする方針も亦疑はざるを得ないこと、爲つた。夫ればかりではない四

五年前に創設された土木部獨立の方針も動搖するやうに爲つた、其の裏には技術官が責任を以て活動しないと言ふ不利益が蘊藏はれる。

### ○

是では折角の經濟部も餘り效果がない、部を増設する位なら土木部を増設して呉れるのが當然であると言ふ聲が擴がつた。氣の早いのに爲ると土木部増設運動に東上したのもある、併し土木部を持たない府縣全部が要求するのなら政府も動くのであらうが、俺の縣だけに土木部を設けと言ふのだから效果が薄い、矢張り今の世は團體行動に限る、ドーダ技術官團體が起つて、政府の思想否な方針を強調する爲に土木部獨立の運動を起しては。

夫れは兎も角、經濟部の創設が官吏の生活の爲であると言ふ非難を排除する爲に、成る程と誰もが首肯するやうな地方經濟發展策を示しては、併し夫れは容易の業ではないが、夫れを爲さなければ經濟部獨立の惱は永遠に残さるゝであらう。